

学会記事

第5回徳島医学会賞受賞者紹介

徳島医学会賞は、医学研究の発展と奨励を目的として、第217回徳島医学会平成10年度夏期総会（平成10年8月31日、阿波観光ホテル）から設けられることとなりました。年2回（夏期及び冬期）の総会での応募演題の中から最も優れた研究に対して各期ごとに大学関係者から1名、医師会関係者から1名に贈られます。

第5回徳島医学会賞は次の2名の方々の受賞が決定いたしました。両名の方々には第222回徳島医学会学術集会（冬期）授与式にて賞状並びに副賞（賞金10万円及び記念品）が授与されます。

尚、受賞論文は次号（12月25日発行予定）に掲載いたします。

（大学関係者）



受賞者氏名：品原久美
生年月日：昭和47年9月23日
出身大学：徳島大学
所属：徳島大学大学院医学研究科4年次

研究内容：先天性高乳酸血症の診断・治療法の確立に関する研究

受賞にあたり：

このたび、第5回徳島医学会賞を戴く事になり、選考委員の先生方、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

小児科には代謝・内分泌、血液、循環器、腎臓、神経の5つの研究・診療グループがあります。私は、現在、伊藤助教授を長とする代謝・内分泌グループに所属し、大学院生として上記先天性高乳酸血症の診断・治療法の確立に関する研究に従事しております。小児の先天性高乳酸血症は難病のひとつであり、その原因としては様々なものがありますが、我々のグループでは分子遺伝学的手法を用いてその原因を解明し、診断・治療法の確立へ

結びつけようと研究を続けております。

今回、徳島医学会賞を賜りました研究は、代謝グループ全員で行ってきたことであり、我々のグループへの評価としてありがたくお受け致します。

今後とも皆様のご指導、ご鞭撻の程よりしくお願い申し上げます。

（医師会関係者）



受賞者氏名：白石達彦
生年月日：昭和48年12月2日
出身大学：自治医科大学
所属：徳島県立三好病院内科

研究内容：心エコー・ドップラー法による僧帽弁輪石灰化による弁輪狭窄の重症度評価

受賞にあたり：

この度、私の研究を第5回徳島医学会賞に選出していただき、選考委員の先生方をはじめ関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

私は、へき地医療の充実を目指す自治医科大学を卒業後、出身地である徳島県に戻り、徳島大学医学部第二内科学講座に入局いたしました。現在、日本では高齢化が問題となっております。徳島県においても同様であり、特にへき地においてはその傾向は著明であります。その中で、高齢者に比較的多くみられる僧帽弁輪石灰化による弁輪狭窄の重症度評価について研究報告させていただきました。

今回の受賞を励みとして、今後も臨床活動あるいは臨床研究において努力したいと存じますので御指導の程よりしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、この研究を御支援していただいた徳島県立三好病院の諸先生方、入局以来御指導いただいている伊東進教授に深く感謝いたします。